第８回　神奈川県俳句連盟通信句会入賞作品一覧表

一人一賞とする

入賞	点	句番	作品	住所	氏名
1位	30	177	日の匂ひ吐かせてたたむ鯉幟	海老名	大澤　秀子
2位	24	7	凧一つ天の鼓動を糸で聞く	相模原	諸角　和彦
3位	18	140	地吹雪の底を這ひ来る津軽節	茅ケ崎	清水　呑舟
4位	15	158	背をなでる如きに妻の墓洗う	大井	中村　昌夫
5位	13	221	傷つけぬためにつく嘘春の雨	茅ケ崎	日高　朝代
6位	13	306	振り向きし蜥蜴ジュラ紀の面構へ	茅ケ崎	西岡　青波
7位	11	41	三角は涼しきかたち沖走る	厚木	北村　純一
8位	11	93	投了を告げて聞こえし蝉時雨	大井	小野　菊土
9位	10	116	みどりごの欠伸まんまる春の雲	相模原	中坂　和子
10位	10	174	バラ真っ赤どこかに罠のあるような	中井	長谷川　昭放
11位	10	179	小さき手で折る八月の千羽鶴	横浜	沼宮内　薫
12位	9	38	花火果て全てを闇に返しけり	寒川	菅沼　保幸
13位	9	151	武者人形茶箱に兄の生まれ年	南足柄	菅野　英余
14位	9	171	寒暁の豆腐屋に満つ白き湯気	茅ケ崎	浜本　文子
15位	9	242	病名の決まりて夜の半仙戯	茅ケ崎	瀧本　万忘
16位	9	374	山笑ふ過疎に移住の子沢山	座間	鈴木　幸子
17位	8	18	もう少し生きてみようか大夕焼	横浜	宮原　久美子
18位	8	122	ふらここや過去と未来の擦れ違い	大井	北村　文江
19位	8	183	巻戻ししたき月日や時計草	茅ケ崎	佐久間由美子
20位	8	223	日焼け子の両手は翼一輪車	川崎	荒　理依子
21位	7	386	一輪車乗れて少女に春の風	厚木	大山　道子
22位	7	401	父は今母に漕ぎ出す天の川	茅ケ崎	塚島　豊光
23位	6	113	夏帽子脱げば砂上の影も脱ぐ	茅ケ崎	竹本　もりえ
24位	6	212	叱られて強く閉めたる障子かな	茅ケ崎	奥村　ゑこ
25位	6	276	黒といふ色の妖しさ夏の蝶	相模原	浜島　爛雅
26位	6	277	炊き出しの無言の列や除夜の鐘	茅ケ崎	杉山　美代子
27位	5	28	うすものや心の自由ふくらます	相模原	菅沼　とき子
28位	5	355	暦果つ夢のいくつか残しまま	茅ケ崎	井上　瑞子
29位	5	378	サングラス投げてランナーゴール切る	横浜	保田　佳子
30位	5	381	少年に席譲られし涼しさよ	南足柄	加藤　かほる
31位	5	441	呆けても夫は恋人虹の橋	相模原	佐藤　洋子
32位	5	522	戦果とは死者の数なり油照	横浜	金栗　トモ子
33位	5	525	転んでも泣かぬ子となり弁慶草	茅ケ崎	高橋　美代子
34位	5	549	荒波へ吼える黒帯寒稽古	茅ケ崎	大野　昭彦
35位	5	551	種袋振れば確かな花の声	茅ケ崎	岩田　かつ子

※通信句会の入選は一人一句としているので左記の句は入選を辞退致します。

14	73	初鏡卒寿の眉を引きにけり	茅ケ崎	清水　呑舟
12	325	沈黙も返事の一つソーダ水　（他二句）	茅ケ崎	西岡　青波
11	189	子供等の声まで日焼け登校日（他一句）	海老名	大澤　秀子
8	42	顔じゅうを鬼灯にして音を出す	厚木	北村　純一